

海外生活 エッセー

北京事務所

古き良き北京の面影を残す胡同

(一財)自治体国際化協会北京事務所 所長補佐 齋藤 和輝 (愛媛県派遣)

→ 胡同とは

北京に住んでいると、いたるところで胡同フートンを見ることがあります。胡同とは、主に北京の旧城内を中心に点在する細い路地のことで、中国の元、明および清の時代に形成されたものが現在も多く残されています。北京屈指の繁華街であり、日本では北京の銀座として紹介されることの多い王府井ワンフーチェンでも、裏通りに入ると胡同を見つけることができます。

胡同の両側には、中国の伝統的な住居建築である四合院スーフーユェンが建ち並び、住民が居住しています。胡同は、現在も庶民の生活の場となっており、周囲を散策すれば日本の下町のようなノスタルジーを感じることができます。



北京市内には数多くの胡同が点在

→ 観光資源としての胡同

胡同は、庶民の生活の場としての役割のほか、その古い町並みの歴史・文化的な価値を生かして、観光資源としても活用されています。北京では、人力車による胡同

巡りや、四合院の内部見学など、数多くの観光ツアーが催され、人気を博しています。四合院は民泊としても活用されており、実際に貸し出している中国人の知人の話では、常に宿泊予約が入るなど盛況とのことでした。

また、南鑼鼓巷ナンルオグーシェンのように商業観光地化されている胡同もあります。南鑼鼓巷は、四合院を改装して作られたカフェや雑貨店が建ち並びおしゃれな観光スポットとして若者に人気があり、日本の東京・原宿のような雰囲気醸し出しています。南鑼鼓巷では、食べ歩きをしながら散策を楽しむ多くの観光客の姿が見られます。



南鑼鼓巷の町並み

→ おわりに

近年、中国の著しい経済発展に伴う都市再開発などにより、歴史文化保護地区外にある胡同は取り壊しが行われ、その数を減らしています。

北京を訪れた際は、故宮や頤和園といった代表的な観光地と併せて胡同にも足を運び、古い町並みや庶民の生活風景を味わってみてはいかがでしょうか。ひと味違う北京の側面が見えてくると思います。